種まき

開花

実がなる

成増アクトホール

ゴーヤ収穫祭

緑のカーテン完成

成増幼稚園

二階まで成長

収穫

坂本あずまお　2008年 ゴーヤ記録簿

# 広報 春秋あずまお

第11号
2009年上半期版

## 文化とまちづくり

### 春秋あずまお第十一号によせて

板橋区議会議員　坂本あずまお

「文化」と聞いた時、皆さんは何を思い浮かべますか？書道、華道、茶道や歌舞伎などの伝統芸能から、音楽、舞台、芝居、美術館や博物館。はては日本人の生活様式から食文化までと人それぞれイメージは多岐に渡ると思います。

これまで板橋区や各自治体では、こういった「文化」を保持・保存することに重点を置いてきました。それはそれで素晴らしいことですし、日本独自の伝統文化を手厚く保護することは、未熟ながら里神楽などの伝統に関わる私としても、とてもありがたく思います。

しかし、文化活動とは歴史を積み重ねてきた団体のみのものでしょうか。また、守られてばかりいればよいものでしょうか。街の中を見渡せば、趣味で絵を描いたりダンスを踊ったり楽器を弾いたりと、活動されている方々自身でさえ「文化団体」として認識していない、ほんとうに素晴らしく沢山の文化的活動が溢れています。

現在は古典的と言われているクラシック音楽でも当時は革新的な音楽として衝撃を与えましたし、里神楽は、神社への奉納舞が江戸当時の人々のナマの生活を映し出す笑いへとかわった、庶民娯楽でした。今そこに生きる人間の、無名でも新鮮な表現力を評価し支援をする。加えて、これまで積み重ねてきた伝統においては保護のみをするのではなく、更なる質の向上を目指して、何度も何度も生まれ変われる体力と組織の強化をする。

国連のユネスコを含め、世界中の都市が今こうした「創造都市」の発展へ向けて動き出しています。日本ではまず横浜市や神戸市、金沢市が「新文化創造」を掲げ、東京に先駆けて世界的な文化都市を目指して旅立ちました。

人の身体同様に文化も、そして政治も、新しく生まれ変わるための新陳代謝が時として求められます。今はまさにその時ではないでしょうか。

板橋区では、「我々の板橋文化とは一体なんなのか」という再定義を含め、二年後に「文化芸術振興ビジョン」の策定を目指しています。私も本年度、文化・振興調査特別委員会の委員として二十一世紀の板橋文化創造に責任を持ち、議会活動に努めて参る所存です。

## 今後の活動予定

- ●8月21日（金）　『ゴーヤ収穫祭・2009』
  於　ホテルカデンツァ光が丘　☆近日、詳細発送予定
- ●11月5日（木）　『第三回　坂本あずまおゴルフ大会』
  於　埼玉県　小川カントリークラブ　☆参加者募集中
- ●12月18日（金）　坂本あずまお区政報告会・忘年会
  於　成増アクトホール

### ▲クリーン作戦▲

毎月一回、地元成増周辺のお掃除をしています。はじめは20名程度だった参加者も、今では小中学校の校長・ＰＴＡ・生徒、さらには一般の方々まで100名が集い、自主的に清掃活動に励んでいます。自分達の町は自分達できれいにしましょう！

毎月第一日曜日
午前8時～9時半頃まで

参加しよう！

あずまお議員に会えるよ♪

### ▼成増里神楽保存会▼

板橋に伝わる伝統文化の継承と後継者の育成をめざし、まずは身近に感じてもらおうと、おとぎ神楽を披露したり小学生の伝統文化学習などに取り組んでいます。新メンバー続々増加中。初心者大歓迎。見学可。もっと身近に里神楽！

毎週水曜日・土曜日
午後7時～9時まで
成増菅原神社　神楽殿

## 坂本あずまお プロフィール

本名　坂本東生　1978年7月生まれ。31歳。板橋区成増出身。大学時代をトルコ・英国で過ごし、政治学を学ぶ。卒業後、中国の環境事業に携わる。2007年4月、板橋区議会議員に初当選。現在、自民党の一議員として板橋の活性化を目指して奮闘中。特技は5歳より習い始めた古武道。同世代の仲間が集う若手政策研究会（通称和と美の会）のメンバーとはダンスやマラソンを、父親世代の後援会の方々とはゴルフなどを通じて交流を深めている。「クリーン作戦」を中心とする地域ボランティア活動を通じて、小中学生とも頻繁に交流しており、子供たちにも大人気。目指すは「誰にでもわかる政治づくり」。2009年4月より法政大学大学院に在籍し、政策創造研究科にてまちづくりを猛勉強中。

あずまお議員と友美夫人
和と美の会ダンスイベントにて


発行元

坂本あずまお事務所　*SAKAMOTO AZUMAO Office*

〒175-0094　東京都板橋区成増4-3-34

*4-3-34 Narimasu Itabashi-ku Tokyo 175-0094 Japan*

*TEL 03-6781-0770 FAX 03-6781-0775*

*URL http://www.azumao.com*

*E-mail info@azumao.com*

# 活動報告

教育　文化　災害　防犯

## ●第一回定例会　一般質問　インターネットライヴ中継

二月十七日

議会当日、区役所に傍聴に行かなくても本会議の様子をいつでも見られるようになりました。区のホームページで視聴できます。あずまお議員の主な提言は次の通りです。

### ■校庭芝生化の普及を！

校庭芝生化は、東京都が盛んに推進しているが、なぜ板橋の芝生化は進まないのか質問したところ、財政負担の軽減および人材確保ができれば区も実現に向けて対応するとの回答をいただきました。

### ■地産地消の実現を！

地元で収穫した野菜を地元の人々で消費するという地産地消は、地元農家の活性化と振興ならびに子供の食育推進に貢献できるうえ、輸送などのコスト削減と環境配慮につながると提言。その結果、七月八日に都内初となる地産地消が実現！区内農家が生産した野菜を教育委員会が購入し、区内全小中学校の給食に導入する取り組みがスタートしました。

## ●金沢視察

三月三十日～三十一日

自民党議員団十五名は、平成二十年に板橋区と友好姉妹都市となった金沢市を訪れ、閉校・閉鎖となった学校や工場跡地が、美術館・図書館・芸術村などとして生まれ変わり、見事に再利用されている現場を視察しました。これは全国でも非常に珍しく成功している例で、その成功の秘訣は、その町の歴史・文化・市民生活それぞれを理解し、その特性を最大限に生かすかたちで文化・市民・行政が見事に融合しているからです。板橋もこの例を参考にして創造都市板橋を目標に全力で取り組んで参ります。

## ●新環境プロジェクトチーム発足　副座長に

四月二十一日

いまや世界中が深刻な問題として取り上げ取り組んでいる環境政策。国や都が次々と提示する政策に対して、板橋区も迅速かつ的確で特有な政策をもって対応すべく、自民党議員団で新たな政策チームを立ち上げました。あずまお議員はその副座長に任命されました。

### ■病児保育施設の開設　都内初！お迎えサービス付き

子育てしながら仕事をする親をサポートするため、各自治体で広がりつつある病児保育施設は、病院に併設したうものです。さらに板橋区では、都内初となる「お迎えサービス」を開始しました。これは、急に子どもが発熱した場合などすぐに迎えに行けない家族に代わって、区が委託する病院の看護師が保育園に迎えに行くサービスです。働くお父さんお母さん、こんなサービスのある板橋って、素敵だと思いませんか？板橋区は働く皆さんを応援します！

## ●区議会の新構成決定

五月十九日

本年度あずまお議員は、常任委員会では「文教児童委員」に、特別委員会では「文化・振興調査特別委員」に選任されました。教育・文化・芸術の振興・地域活性化という事業に携わる委員会は、あずまお議員の求める未来板橋のビジョン創造にもっとも力を発揮できる分野であるといえます。ありがたい選任に感謝するとともに、視察・研究を重ねて参ります。

## ●災害救助犬訓練

二月一日

NPO日本救助犬協会による災害救助活動訓練を、解体前の赤塚庁舎にて行いました。板橋に十数頭いるという救助犬は、厳しい訓練を受けて試験に合格したうえで、更に過酷な災害現場を想定した訓練を積み重ねています。いつ私達の身に起こるかわからない地震や災害に備えて訓練している救助犬を支援するために、このたび実際の解体現場である赤塚庁舎を訓練の場として提供しました。

## ●消防ポンプ操放大会

六月七日

板橋区志村消防団第十分団所属のあずまお議員は、六月七日に行われたポンプ操法大会で放水の実演をしました。簡単そうに見えても、大量の水を放水するホースを抱えるのは非常に力のいる仕事です。また、実際に火事の現場に駆けつけると、大会や訓練とは違い想像以上に命の危険を感じると言います。区民を守るため、日ごろの訓練で常に精神も体も鍛えておく必要があります。暑さに負けずがんばれ若き消防団！

## 新コーナー「教えて区議さんQ&A」

このコーナーでは区民のみなさんの素朴な疑問にお答えします

**Q. 区議さんて毎日区役所に出勤するの？**

**A. いいえ　毎日ではありません**

区役所に必ず行くのは、議会がある日です。視察や外での会議がたくさんありますから、区役所に行かない日もあります。

しかし、区役所には所属会派の部屋がありますから、そこで他の議員と話し合ったり、視察の報告書を作成したり、あるいは区民からの問い合わせに応じたりしますので、やはり区役所にいることは多いですね。

区役所の見学もできますから、ぜひ一度お仕事を見に来て下さい。（要予約）

# ゴーヤプロジェクト

農業　環境　健康　仲間

昨年より板橋区をあげて取り組んでいる「緑のカーテン」ことゴーヤプロジェクト。今年も夏の一大イベントとしてあずまお議員は精力的に普及活動に取り組んでいます。昨年うまく育てられなかった方も、あきらめずにぜひ今年も挑戦してください。そんな熱い活動の一部をご紹介します。

## ●緑のカーテンコンテスト　板橋区長賞受賞！

二月十四日

区立グリーンホールで開催された環境シンポジウムと同時に「緑のカーテンコンテスト表彰式」が行われ、成増・赤塚地区は、応募総数六十五組の中からみごと、町ぐるみ部門の「板橋区長賞」を受賞しました。このコンテストは、緑のカーテン普及啓発および育成に関する情報の収集・共有などを目的として三年前に創設されました。

## ●第二回　緑のカーテンフォーラム

四月十七日

昨年沖縄で行われた第一回に引き続き、第二回目のフォーラムが区立文化会館で開催されました。誰もが簡単にできる温暖化対策として広がりを見せている「緑のカーテン」。これからは単にゴーヤを育てるのではなく、町そのものの緑化推進や、区民と行政との連携を深めるなどして活動内容の充実化を図るべきであると専門家から提案されました。

## ●エコライフフェア2009

六月六日・七日

東京都や環境省が主催となりさまざまな形で環境のことをみんなで考える「エコライフフェア」が今年も代々木公園で開催され、六万五千人が訪れました。多くの大企業がブースを連ねるなか、東京都のブースに成増で育てたゴーヤの苗が提供されました。これは、板橋の都市農業振興にとって大変大きな第一歩となりました。

## ●緑のカーテン普及を

六月十四日

そろそろ気温が上昇しはじめ、ゴールデンウィーク前後に蒔いたゴーヤの種が発芽して苗木となった六月中旬、成増・赤塚・三園地区の方々を対象にゴーヤの育て方や温暖化防止効果についての説明会を開き、緑のカーテン普及活動をしました。

**梅雨も明け、夏真っ盛りの現在ではあちこちで黄色い花が咲き、小さな実がなりはじめたとの声が届いています。もう間もなく収穫です。あとひといき、がんばれ！**

坂本あずまお若手政策研究会

# 和と美の会

## ●荒川市民マラソン完走

三月十五日

三月十五日(日) 荒川河川敷で行われた第十二回東京・荒川市民マラソンｉｎＩＴＡＢＡＳＨＩに出場しました。昨年の第十一回大会は、あずまお議員がフルマラソンに挑戦しましたが、今年は若手政策研究会の会員と共に参加することとなり五キロの部に挑戦しました。

前日が雨だったため路上のコンディションが心配されましたが、当日は一転して清々しい晴天に恵まれ、五人全員無事に完走しました。

後日、大会事務局より記録証と写真が届き、出場者に集まってもらい開いた座談会では、「せっかく練習したのに本番では力が出し切れず悔しい」「来年こそは目標タイムを達成する！」など、既に来年の大会出場でリベンジを果たす意気込み満点の声が聞こえてきました。応援してくださった皆さん、ありがとうございました。来年はぜひ一緒に走りましょう！

## ●サマーダンスパーティー・2009

七月二十日　板橋区立グリーンホール

昨年九月に引き続き、ダンスパーティーを開催し、約百名のダンス愛好家が真夏の夜の舞踏会を満喫しました。今回の目玉は何と言っても、あずまお議員を含む若手メンバーによるフォーメーション。初心者ながら数ヶ月の猛特訓の末、本番では元気いっぱいのジャイヴを披露し、会場を沸かせました。このイベントを通じてあずまお議員は「仲間と共に同じ目標に向かって一生懸命に取り組むことの大切さを学び、忙しいながらも続けてきて本当に良かった」と安堵の表情を浮かべ、あらためて仲間との結束を深めました。

最後は、メンバーの指導・振付けをしてくださった先生による迫力のプロフェッショナルデモンストレーションに酔いしれ、華やかなパーティーは閉会となりました。

和やかに美しく、これからも和と美の挑戦は続きます。乞うご期待！